

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

法政 大学 藤澤利治 ゼミ 戸倉

パート

3

部門番号

部門名

国際経済論

テーマ

ヨーロッパ移民難民問題

サブテーマ

人道、経済、治安から見る移民問題

趣意文

現在ヨーロッパでは、大量の移民難民受け入れでさまざまな問題が発生している。その問題例としてあげられるのが、移民難民の犯罪の増加で治安が悪化している点、移民難民の生活支援や治安政策で多額の財政を支出している点などである。これらの問題でヨーロッパ各国の国民の移民難民への感情は悪化している。実際、イギリスがEUを離脱し、ドイツやフランス、オランダの極右政党の台頭、イタリア議会のEU離脱派の勝利した今日では、政治と移民難民問題は引き離すことができないことが自明のことになった。私たちの班では人道支援の観点にもたち、移民難民問題を研究していく。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

法政 大学 藤澤 利治 ゼミ 榊原 パ

一ト

3

部門番号

部門名

国際経済論

テーマ Britain×Exit

サブテーマ ブレクジットによって引き起こされる様々な影響

趣意文

イギリスのEU離脱が来年に決定したため世界中がイギリスやEUに対して大きな注目を集めている。そのため、私たちのグループはイギリスのEU離脱について研究している。また私たちのグループではより深くイギリスのEU離脱について研究するためにイギリスがEUから離脱した経緯、イギリス国内におけるEU離脱のメリットとデメリット、イギリスの離脱によるEUへの影響、イギリスに進出していた日本企業への影響という4つの観点に着目している。また最後にこの4つの観点を通してイギリスとEUまたイギリスと日本の今後の関係について考えていきたい。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

法政大学

藤澤ゼミ

小林

パート

3

部門番号

部門名 国際経済論

テーマ ヨーロッパの独立の動き

サブテーマ 新しい独立運動

趣意文

現在、ヨーロッパでは一部の国で独立の機運が高まっている。例えばスコットランドの独立である。スコットランドのイギリスからの独立の原因としては、歴史的背景やプロテスタントやカトリックといった宗教的な問題、油田の独占などの経済的な問題、イギリスのEU離脱といった政治的な問題などが関係している。これらの問題を踏まえてスコットランドの独立について多角的に捉えていきたい。

また、もしスコットランドがイギリスから独立した場合、現在同じように独立の動きを見せているスペインのカタルーニャなどの国々に与える影響についても考察したい。

そして、スコットランドやカタルーニャの独立がEU全体にどのような影響を与えるのかについても焦点を当てたい。

また、本来アメリカなどの大国に対抗するために作られたEU全体がバラバラになってしまうことで世界の力関係が変わり、日本の経済にどのような影響をもたらすかについても考察したい。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

法政 大学 藤澤利治 ゼミ 丸田 パー

ト

3

部門番号

部門名

国際経済論

テーマ

ヨーロッパに進出している日本企業の経営

サブテーマ

企業の海外進出とその地域での社会情勢への適応

趣意文

私たちはヨーロッパに進出している日本企業の経営に焦点をあてていきたいと考える。なぜ、どのように日本企業がヨーロッパで活躍できているのか、海外進出のメリットをどこに生み出しているのか、などを研究していきたい。また、現在ヨーロッパではイギリスのEU離脱問題が大きな話題となっている。イギリスのEU離脱が経済に及ぼす影響は大きいと考えられる。このような社会情勢を見て海外進出をしている日本企業はどのような反応をしているのか、どのような対応を示していくのかを検討していきたい。